

# 澎湖諸島

テーマ:自然・絶景



台湾本島の西に広がる澎湖諸島は、玄武岩や石灰など地元の石材を用いた独特の家屋群と、約 200 の廟が点在し、天后宮などが有名。

観光は本島・北海・南海の 3 エリアに分かれ、奇岩景観の跨海大橋、吉貝嶼の長い砂浜、七美や桶盤嶼の玄武岩景観など多彩な自然が楽しめる。

白沙郷には海底トンネルを備えた澎湖水族館もある。「世界で最も美しい湾クラブ」にも選ばれた海を舞台に、玄武岩の奇岩、七美島のツインハートなど絶景が点在。伝統集落や媽祖廟、海の幸も魅力の海洋リゾート。



## 企画視点

主要都市からのアクセス:

- 交通:澎湖本島の馬公空港まで台北、台中、高雄から国内線が運航。所要約 1 時間
- 春～秋のシーズン中は嘉義から高速船、高雄から寝台タイプの夜行船が運航
- 本島から周辺の主な離島へは、本島の馬公港や赤崁埠頭から高速船でアクセスでき、吉貝嶼へは約 20 分、七美・望安など南海の島々へは約 60～90 分  
シーズン中は、離島をめぐる北ルート、南ルートなどのアイランドクルージングコースなどのアイランドホッピングツアーなども運航

周辺の地図 <https://maps.app.goo.gl/rfrQBXA386VJfuGF6>

## 旅行会社の企画視点



澎湖は台湾本島と異なる海洋文化と玄武岩景観、白砂のビーチを兼ね備えた離島リゾート。個性的な民俗文化や、吉貝・七美など周辺離島を組み合わせたアイランドホッピングも可能。海外からの造成は夏季休暇のピーク前のシーズン前がねらい目。夏季のビーチ、海上アクティビティ、花火大会など季節性の高い商品造成が期待できるエリア。

## 地域資源の視点



離澎湖は玄武岩の海岸地形や透明度の高い海などの自然景観に加え、媽祖信仰を中心とした祭礼や約 200 の廟が点在する民俗文化、豊かな海鮮料理など多彩な地域資源を持つ離島。海洋生態や伝統文化を学ぶ要素も備え、自然・文化・食を体験できる台湾有数の島嶼観光エリア。

豊かな海に育まれた海鮮料理や小管(イカ)、黒糖糕などの名物グルメも魅力。

観光シーズンがはじまる春になると、海上を彩る花火大会が毎週開催され、鮮やかな演出が毎年話題に。晩秋には、島々を駆け抜ける特色ある離島横断マラソンなど開催されている。

- 澎湖国際海上花火フェスティバル  
(澎湖國際海上花火節)
- \*プレイベント: 2026/4/20(月)、4/27(月)  
・花火ショー(約 10 分)
- \*開催期間: 2026/5/4(月) 開幕 ~ 6/25(木)  
(毎週月曜日、木曜日)  
2026/6/30(火) ~ 8/25(火) 閉幕 (毎週火曜日)  
5/4 開幕、8/25 閉幕:  
・花火ショー + ドローンパフォーマンス(約 20 分)

## 関連情報リンク先

(台湾観光庁)澎湖国家風景区管理处  
<https://www.penghu-nsa.gov.tw/Japan/>

問い合わせ先 / 画像提供: 台湾観光庁